

細胞のGMP保管

※本受託業務は「福島医薬品関連産業支援拠点化事業」の成果を利用して行っております。

細胞を GMP 準拠細胞凍結保管システムで 保管いたします (※ システムの詳細は裏面参照)

- ☑ マスターセルバンク・ワーキングセルバンクの分散保管
- ☑ セルバンクの長期保管
- ☑ 保管庫専有や区画専有などのニーズにも対応

管理体制・設備・施設

- GMP準拠の施設で保管管理
- 気相での保管管理
- QRコード管理により取違いを防止
- GMP準拠の手順書に基づいた管理
- 24時間監視システムによる監視体制
- 21 CFR Part 11 対応の検体管理システムにより入出庫を一元管理

立地

- 分散保管場所として適切な距離
(100-150 km 以上離れた場所が望めます)
※ つくばから約 180 km、東京から約 230 km、大阪から約 560 km
- 浸水害の恐れがない場所



☒ 連絡先 ☒



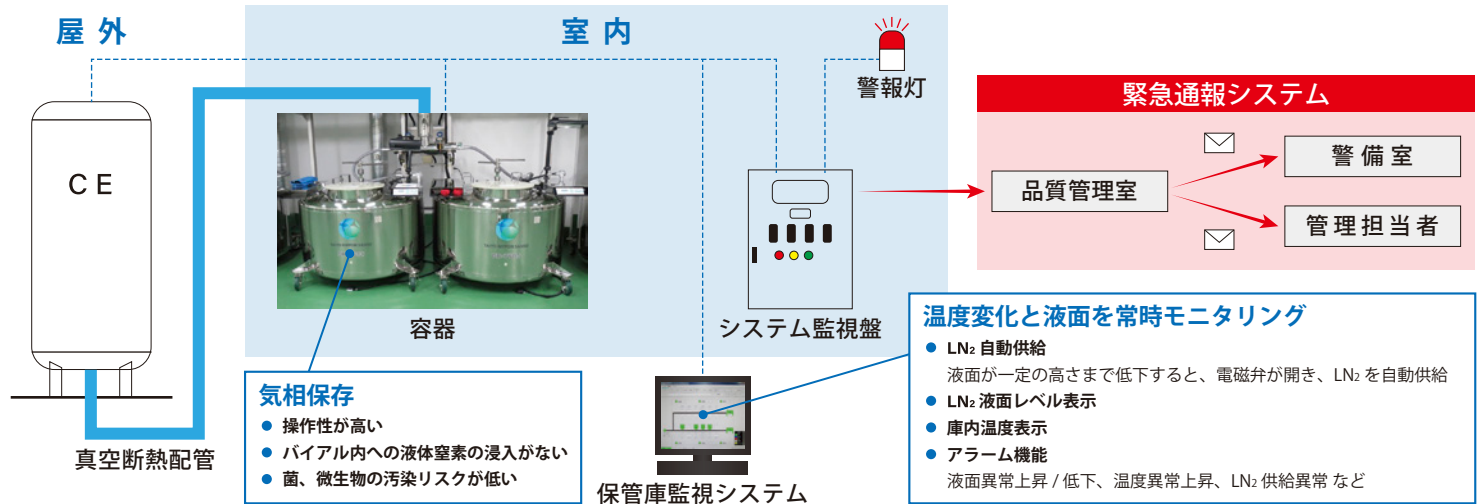
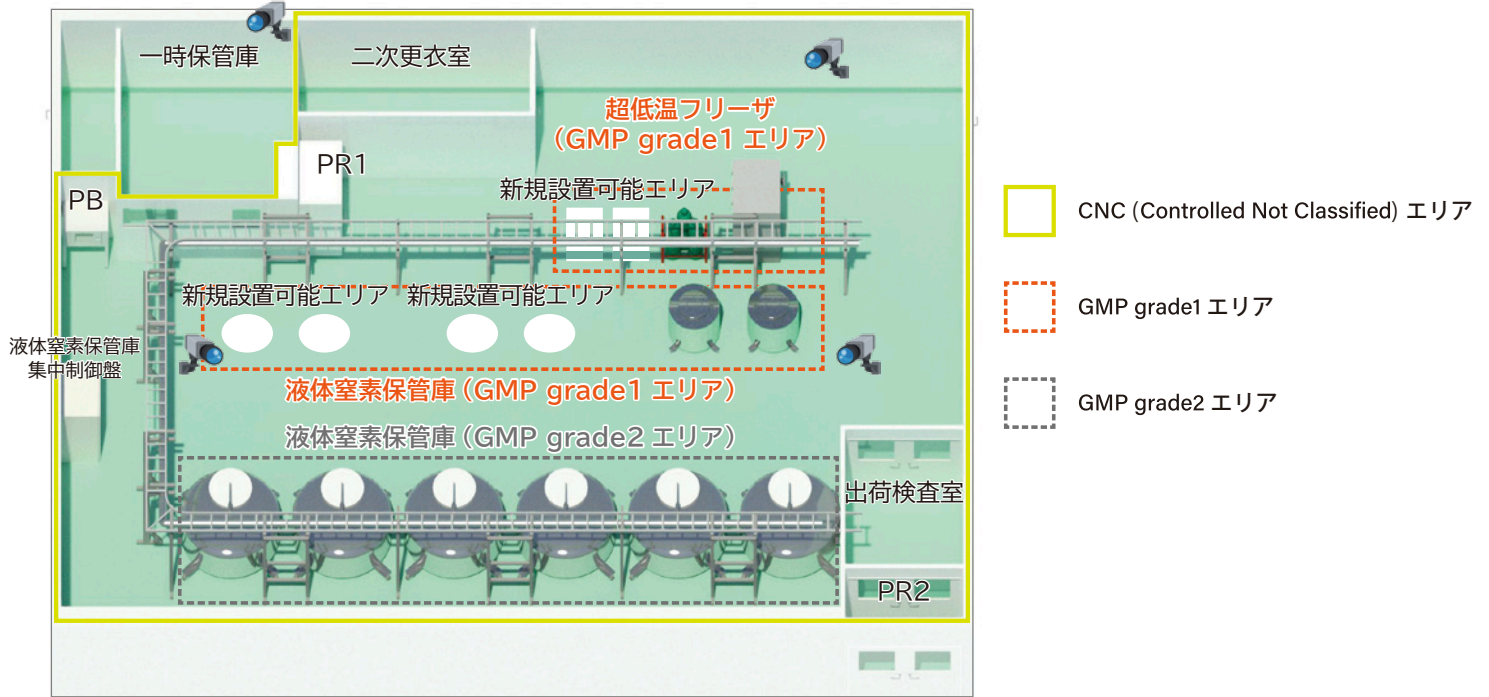
ybrs.cell-bank.info@yokohamabio.co.jp

株式会社 横浜バイオリサーチアンドサプライ

〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-6 横浜バイオ産業センター

電話：045-511-1028 Fax:045-306-9594

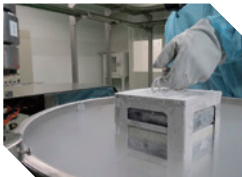
細胞凍結保管システム



POINT 1

液体窒素保管庫

- コンタミネーションや容器破損のリスクが少ない気相での保存
- 液体窒素自動供給システムにより適切な庫内環境を維持
- GMP 準拠の保管庫 (1台あたり最大 6,400 バイアル保管可能)
- 停電時も非常電源により運転可能



POINT 2

セキュリティー

- 有人による 24 時間警備体制
- 監視カメラによる 24 時間監視システム
- 細胞保管エリア・品質管理室などの重要施設は、二重扉による二段階認証により入退室を管理



POINT 3

超低温フリーザー

- GMP 準拠の超低温フリーザー (548 L・5 段)
- 24 時間モニタリング
- 停電や機器異常などの緊急通報システム
- 液化 CO₂ による補助冷却装置



POINT 4

検体管理システム

清水建設 "S-Cell Manager"

- 21 CFR Part 11 対応
- QR コード管理により取違いを防止
- 入庫から出庫までを一元管理

